

# BURLEY®

## バーレー 自転車用ベビーカー 取扱説明書・事故防止説明書



対応機種

ディーライト・アンコール・キャブ・ソロ

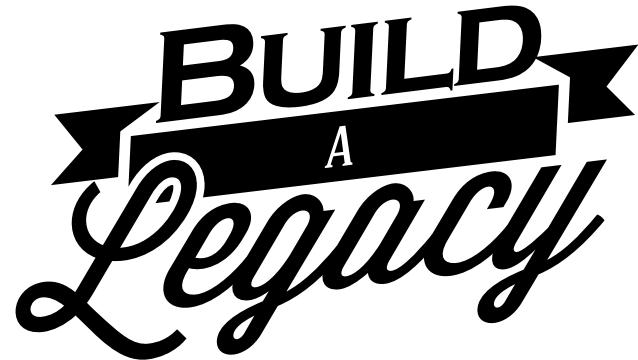


本書は大切に保管をして下さい。



オンラインで動画マニュアルをご覧いただけます（英語）  
[burley.com/support/video-guides](http://burley.com/support/video-guides)





ALWAYS ORIGINAL. ALWAYS PRESENT. ALWAYS BURLEY.

*Since 1978*

## 伝統を作る

私達にとって伝統とはライダー、冒険家や探検家を作り出す事です。なぜなら旅の始まりに導くことが私達の仕事だからです。

道を行きながら、地図を見るなどを覚え、それぞれの曲がり角に物語があることに気づかれます。丘は筋肉より人を作り出すことを学びます。深く掘り進むうちにもっと高く登れることを知ります。旅や旅で学んだことが、私達を作り出していることに気づきます。今までの経験や情熱が伝統へと変わることを知っているから、旅人を導き続けます。より良い生活の為に前進し続け、過去から学び、誇らしく未来を守ります。冒険に出かけてトレールを走破すれば世界はひろがって行きます。外では壁や限界に邪魔されることなく、想像した以上に遠くまで行けることを知ります。日々、代々、旅は決して終わりません。物語が広がり続ける限り、記憶はずつと残ります。

## 1 目次

- 1 目次
- 2 安全上の注意・警告
- 3 警告 負荷荷重の配分と走行
- 4 内容物を確認する
- 5 各部の名称
- 6 各部の名称(取り付け金具部分)
- 7 ベビーカーを広げる
- 8 ベビーカーを折り畳む
- 9 ホイールガードを取り付ける
- 10 けん引バーを取り付ける
- 11 サスペンションを調整する
- 12 ホイールを取り付ける
- 13 カバーとフラッグを取り付ける
- 14 ベビーカーを自転車に取り付ける
- 15 パーキングブレーキを設定する
- 16 お子様を安全に乗り降りさせる
- 17 ハンドルバーを調整する
- 18 乗車前点検リスト
- 19 お手入れをする

## 重要

バーレー自転車用ベビーカーをご使用になる前に、必ずこの説明書をお読み下さい。ご質問・詳細な情報は最寄りのバーレー販売店にご連絡下さい。バーレーWEBページでもサポート情報をご覧いただけます。

[www.riteway-jp.com/burley/](http://www.riteway-jp.com/burley/)

## 2 安全上の注意・警告

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています

●本製品は自転車でのけん引専用に設計されています。オートバイや自動車でのけん引は絶対におやめください

●推奨する最高速度

なめらかでまっすぐな道の場合 時速24km

カーブ、でこぼこ道 時速8km(歩くより少し早い程度)

交差点 徐行(いつでも止まれる速度)

●乗車するには、ひとりでまっすぐに座れること、首が座っていることが必要です

●自転車用ベビーカーに乗せても良いかどうかは、医師にご相談ください

●7歳のお子様まで乗車できます

●乗車するお子様には安全基準を満たしたヘルメットを着用させてください

●走行中はゴミやホコリをさけるためにカバーを閉じてください

●二人乗りベビーカーに1名のみ乗車する場合は、進行方向に対して右側の座席に乗車してください

●指・衣類・おもちゃ・靴紐などがホイールのスポークに巻き込まれないように注意してください

●暑い夏や寒い冬はキャビンの気温とお子様の快適性を頻繁に確認してください

●お子様を乗車させたままベビーカーを離れないでください

●16歳以上の方が牽引をしてください

●自動車用のシートを搭載しないでください

●最大荷重を越えて利用しないでください

●改造をしないでください



ジョギングベビーカー・手押し用ベビーカーオプションをご利用の場合、付属の取扱説明書をよくお読み頂き、警告事項をご理解いただいた上で製品をご利用下さい。

●タイヤの空気圧は適正に保つようにしてください。パンク・怪我の原因になります

●自転車整備士による牽引の安全確認を行った後、ご利用いただくことをおすすめいたします

●ご利用の前に、本製品が自転車のブレーキ・ペダル・ハンドル等に干渉していないことを確認してください

●バックミラーを自転車に取り付けることを推奨します

●歩道の走行はできません。公道を走行時は法律および各地の条例に従ってください

●本製品をけん引することで、法律で定められた普通自転車ではなくなり、軽車両として扱われます。そのため、「自転車通行可」とされている場所の走行もできません。

●ライトが不十分な状態で夜間走行をしないでください

●本製品についている反射板が常に見える状態でご利用ください

●お子様の様子や本製品の様子を確認するために停車する場合、必ず道路の端に寄せてください

●けん引時には負荷がかかるため、自転車単独での走行時よりも反応が鈍くなります

●急カーブ・急ブレーキは避けてください

●運転に慣れるまでは、安全が確保された広い場所でよく練習してください

●障害物は避けて通ってください。本製品が乗り上げてしまった場合、転倒する恐れがあります

●天候・交通状況・路面の状況が本製品に適していることを確認の上でご利用ください

●本製品のご利用推奨気温は-7度から38度です

### 3 警告 負荷荷重の配分と走行

安全な走行のためには適切な負荷荷重の配分が必要です。自転車と接続するけん引バー先端部の垂直荷重が0.9kgから9.7kgの間が適切な負荷荷重の配分です

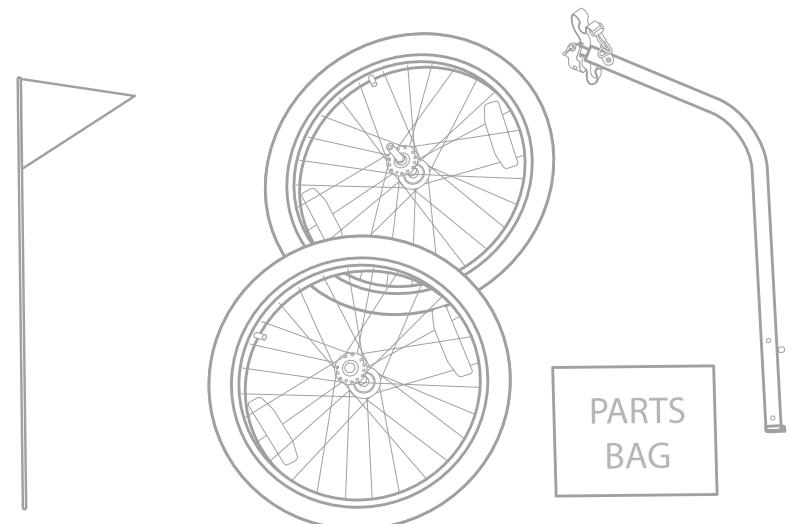
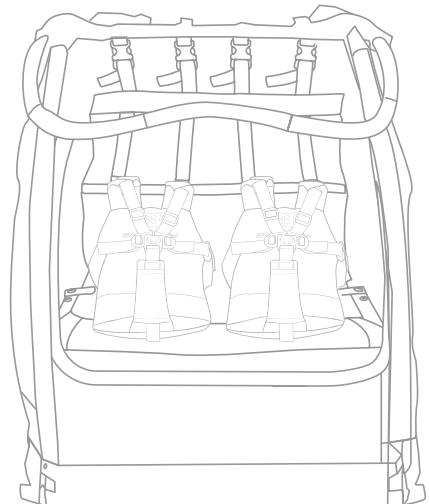
#### 負荷荷重計測の方法

1. 体重計を用意します
2. 体重計で計測を行う方の体重を量ります(A)
3. けん引バー先端部を地上から30cmまで持ち上げて、計測を行う方の体重を量ります(B)
4. (B)から(A)を引いた重量が、垂直荷重です
5. 数値が低すぎる場合、自転車のタイヤが空回りして進めなくなる場合があります
6. 数値が大きすぎる場合、取り付け金具及び自転車への負荷が大きくなりすぎます
7. 適正な範囲がない場合、荷物の搭載場所を前後に動かして調整してください

本製品のご利用推奨気温は-7度から38度です

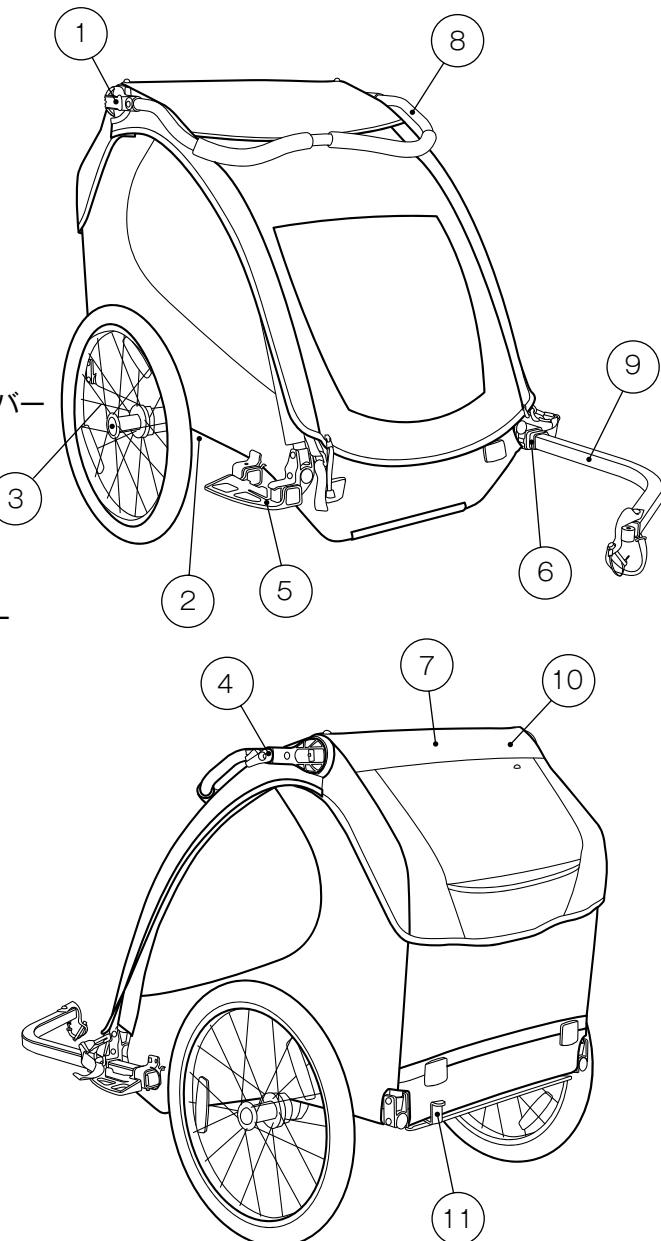
### 4 内容物を確認する

1. フラッグ×1
2. タイヤつきホイール×2
3. けん引アーム×1
4. ベビーカー本体(カバー含む)×1
5. パーツ入り袋×1
6. 5mm六角レンチ



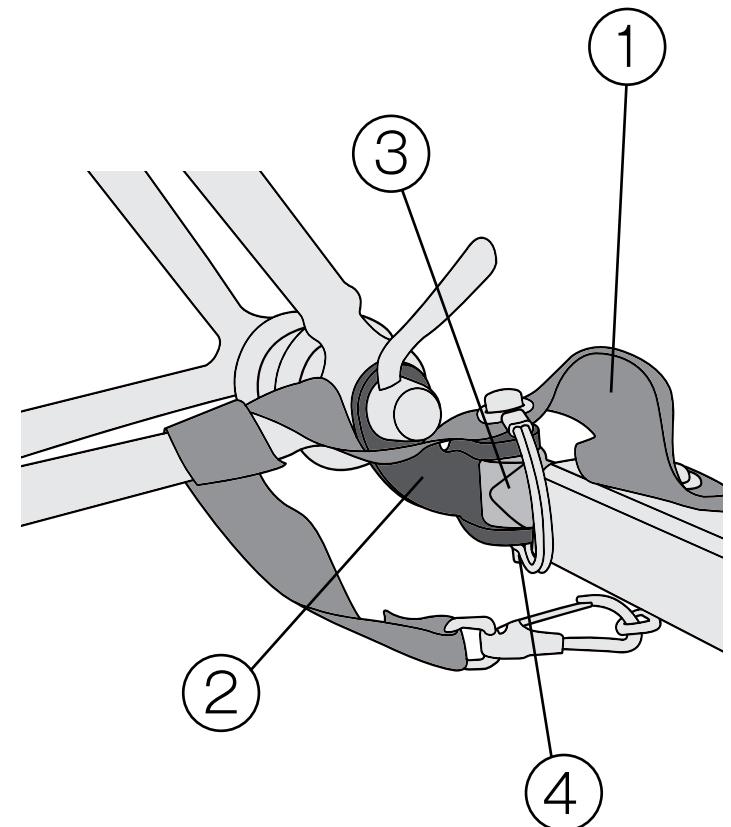
## 5 各部の名称

1. ハンドルバー/レバー
2. サスペンション調整つまみ
3. タイヤつきホイール
4. フラッグ取り付け穴
5. ホイールガード
6. けん引アーム取り付け台座
7. 本体力バー
8. 手押し用ハンドル兼ロールバー
9. けん引アーム
10. フレームラッチ  
(カバーの内側にあります)
11. パーキングブレーキレバー



## 6 各部の名称(取り付け金具部分)

1. 安全ストラップ
2. 取り付け金具(ヒッチ)
3. フレックスコネクター
4. 固定用リング

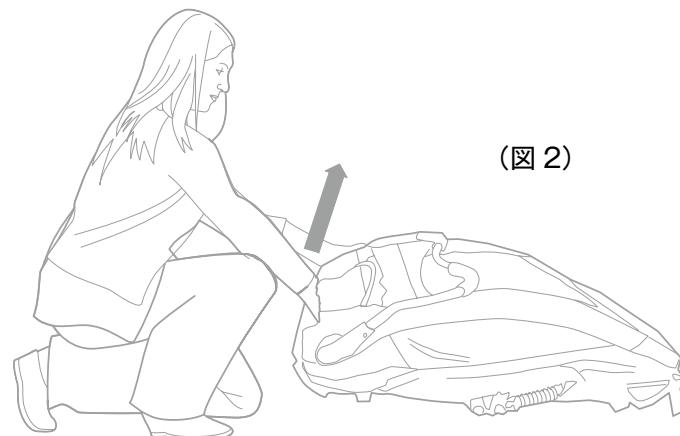


(図 1)

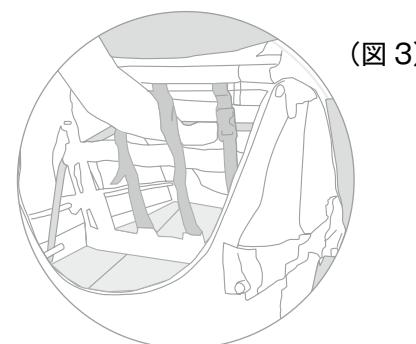
## 7 ベビーカーを広げる

### ベビーカーを広げる

1. (図2)アッパーフレームを後方から持ち上げます
2. (図3)シートに手を入れ、リアフレームチューブをつかみます
3. (図4)しっかりと合わさるように、フレームチューブを握ります



(図 2)

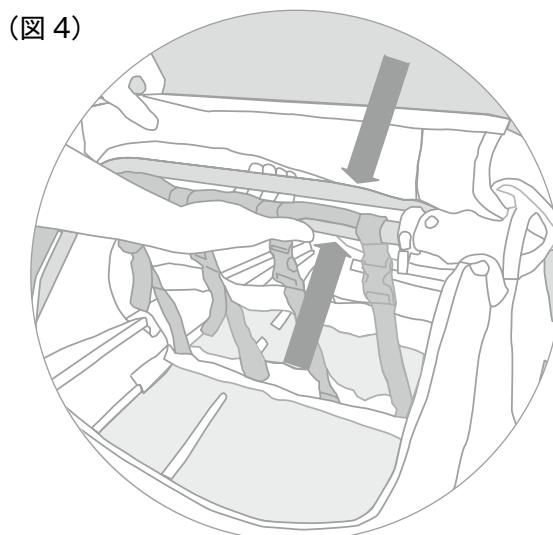


(図 3)

## 8 ベビーカーを折り畳む

### ベビーカーを折り畳む

1. ホイールを取り外します。ホイール中央のボタンを押すと簡単に外れます
2. (図4)カバーの下にある左側と右側の赤い掛け金を持ち上げてフレームチューブを解除します
3. フレームを折り畳みます

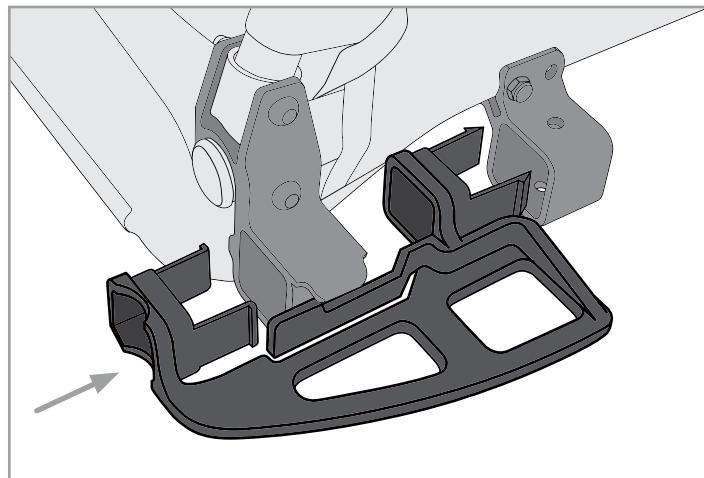


(図 4)

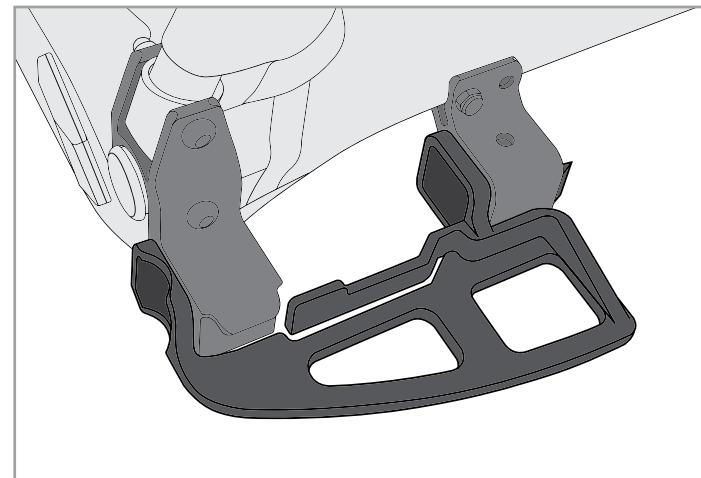
## 9 ホイールガードを取り付ける

### ホイールガードを取り付ける

1. (図5)ホイールガードを図の通りに置きます
2. (図6)ホイールガードをけん引バーの差し込み口にカチッと入るまで挿します。挿す時に前方のタブを内側に軽く曲げます。
3. 反対側も同じように挿します



(図 5)

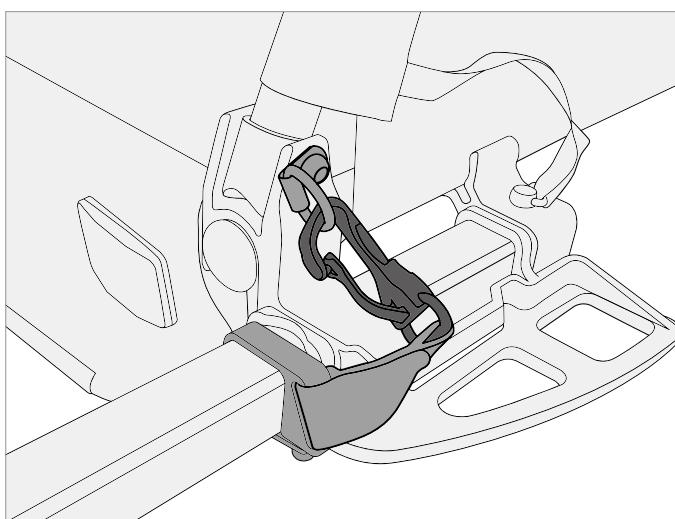
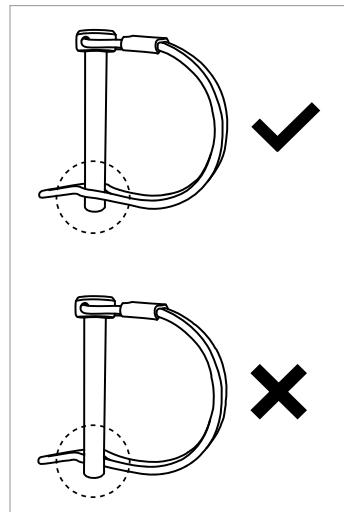
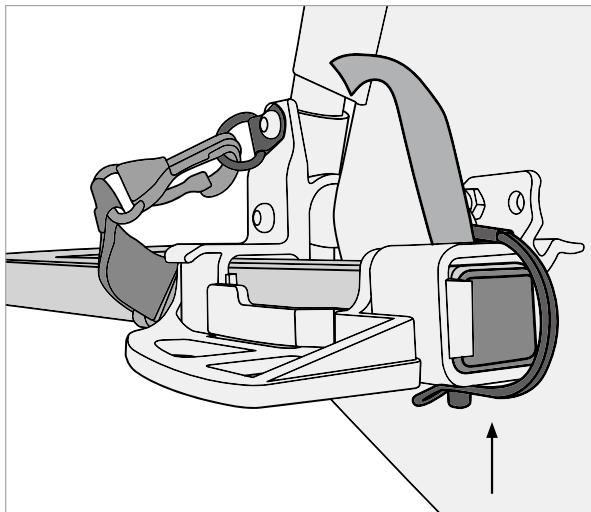
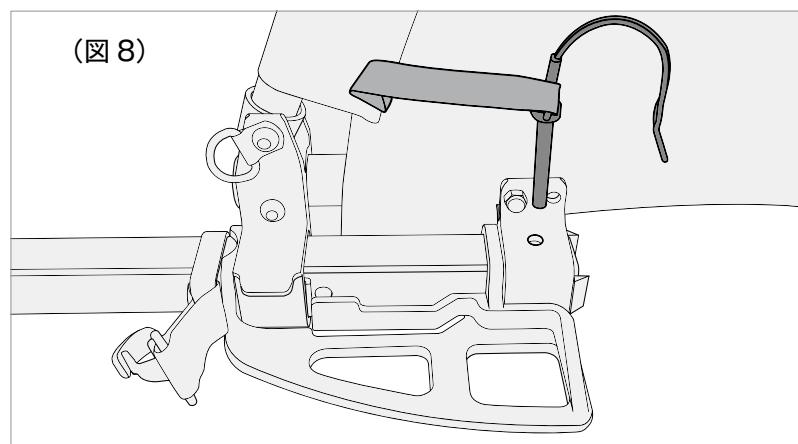
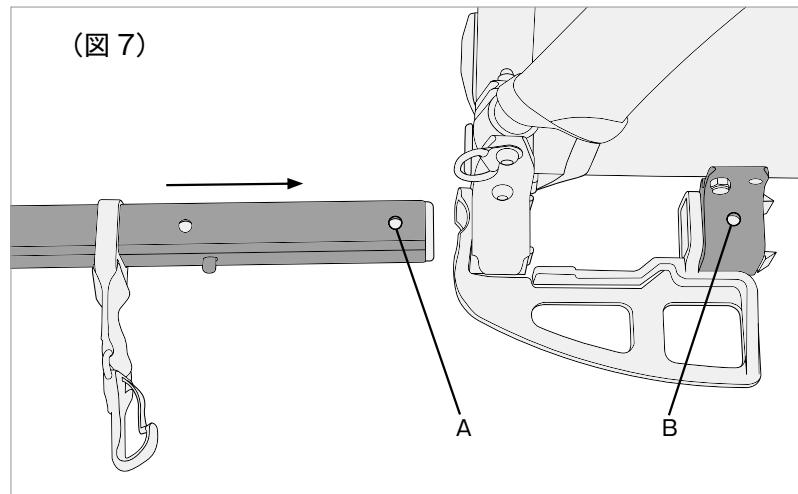


(図 6)

## 10 けん引バーを取り付ける

### けん引バーを取り付ける

1. (図7)Aの穴とBの穴が重なるまでけん引バーを挿します
2. (図8)固定用ピンを挿します
3. (図9,10)固定ピンが図のとおりしっかりと入っていることを確認します
4. (図11)安全ストラップを本体のDリングに接続します

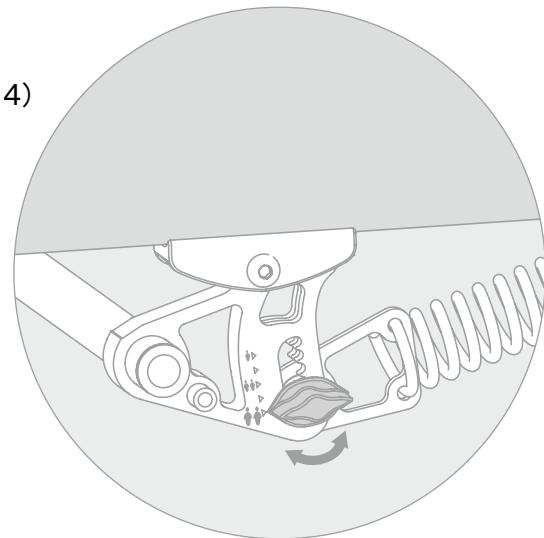


## 11 サスペンションを調整する

### サスペンションを調整する

1. (図14)5段階でサスペンションを調整できます
2. 本体左右の底面にある調節用ノブを回転させてサスペンションを調節します
3. お子様を含む積載量が軽い場合には上方に、重い場合には下方にセットすると乗り心地が良くなります

(図 14)

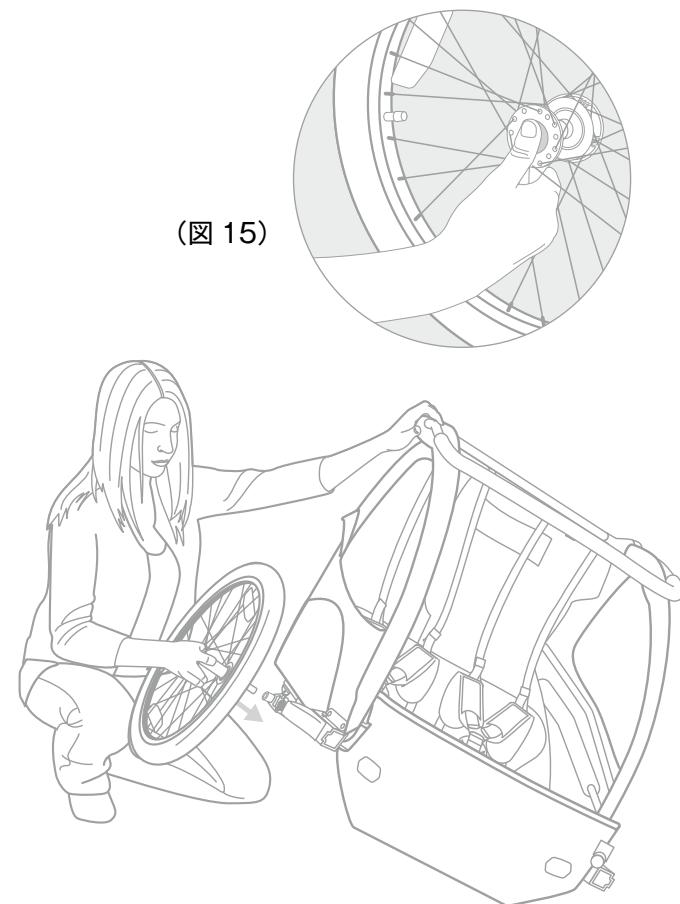


## 12 ホイールを取り付ける

### ホイールを取り付ける

1. (図15)ホイールハブ外側にあるゴムボタンを押します
2. ホイール車軸を本体車軸に挿してボタンを離します。ホイールを引っ張って、確実に固定されていることを確認します

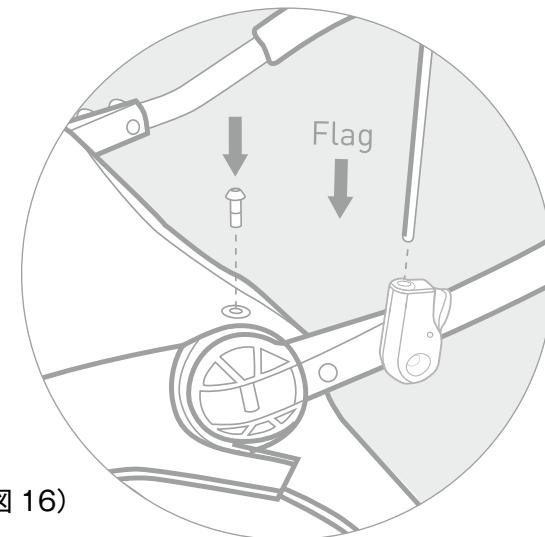
(図 15)



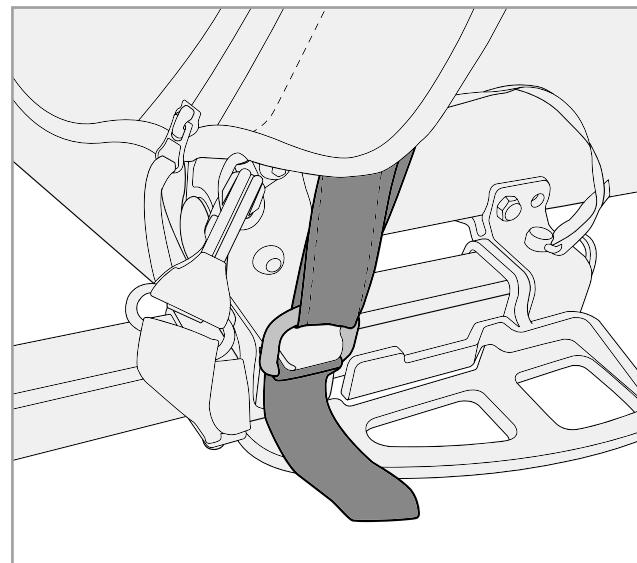
## 13 カバーとフラッグを取り付ける

### カバーとフラッグを取り付ける

1. (図16)付属の付属のネジと5mm六角レンチを利用してカバーをトレーラーに取り付けます
2. (図17)カバーのDリングをけん引バー台座にある出っ張りに引っ掛けます
3. フラッグホルダーの穴にフラッグポールを挿します。取り外す場合は、ボタンを押してフラッグポールを引き上げます



(図 16)

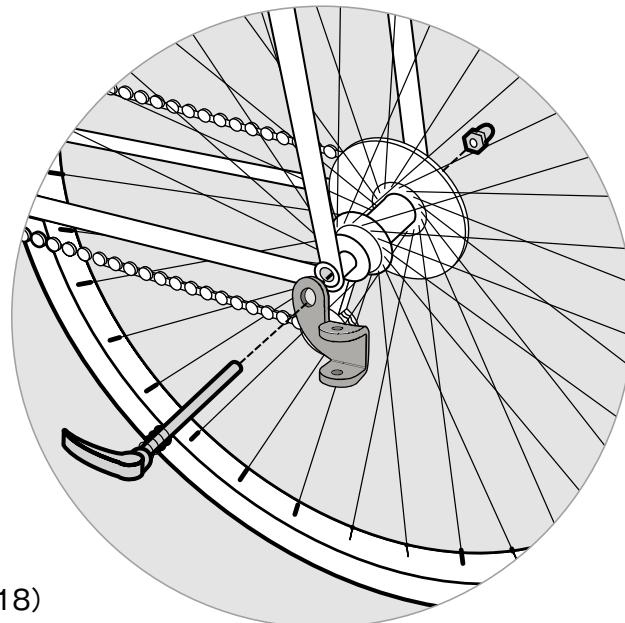


(図 17)

## 14 ベビーカーを自転車に取り付ける

### 取り付け金具(ヒッチ)を自転車に取り付ける方法

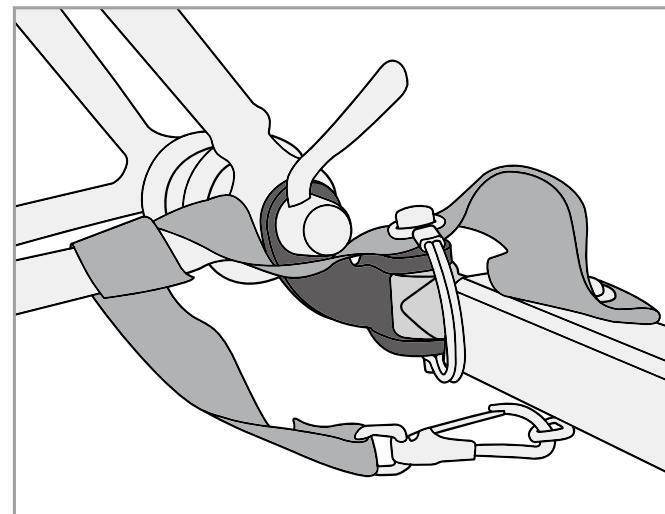
1. クイックリリースまたは自転車後輪の車軸左側にあるナットを外します。
2. 取り付け金具をクイックリリースまたはナットとフレームの間に取り付けます。
3. クイックリリースまたはナットを製造者が推奨する数値で固定します。
4. 取り付け金具はベビーカーを外しても付けたままにできます。



(図 18)

### けん引バーを取り付け金具に連結する方法(図19)

1. フレックススコネクターを取り付け金具の2つの穴の間に挿入します。
2. 固定ピンを差し込み、C型金具を取り付け金具の下側に挟み込んで固定します。
3. 自転車のフレームにセーフティーストラップを巻きます。
4. けん引バーのDリングを掛け金に通して止めてください。

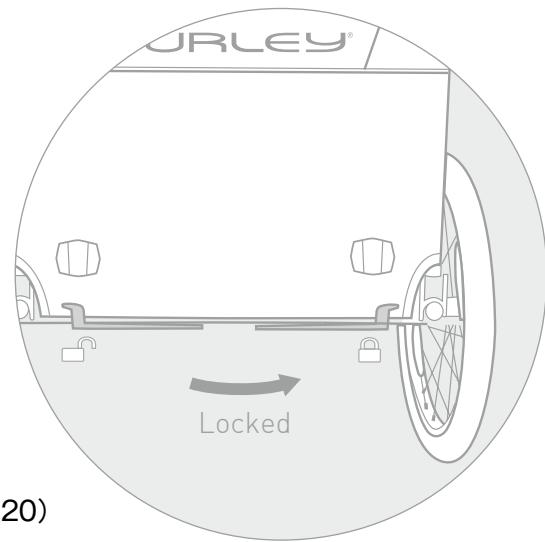


(図 19)

## 15 パーキングブレーキを設定する

取り付け金具(ヒッチ)を自転車に取り付ける方法

1. (図20)ブレーキをかけるには、レバーを右にスライドさせます。
2. ブレーキを解除するにはレバーを左にスライドさせます。



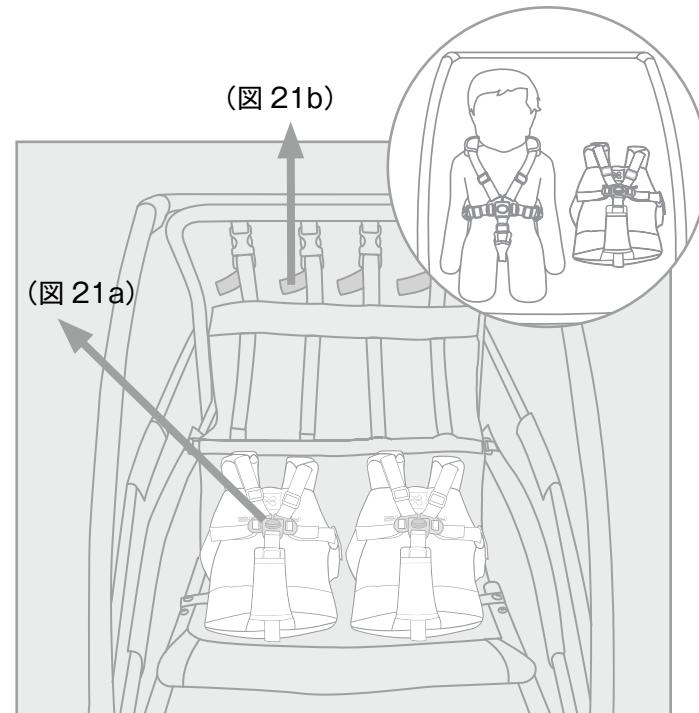
(図 20)

## 16 お子様を安全に乗り降りさせる

お子様を安全に乗り降りさせる

1. お子様をトレーラーに乗せたり、トレーラーから降ろしたりする前に、パーキングブレーキをかけます。
2. お子様の乗車後、シートベルトを固定し、調節します。
3. ショルダーストラップとウエストストラップをハーネスバックルに差し込み、きちんと固定されるまで調節します
4. (図21b)シートの後部にあるウェビングバックルを使用してリクライニングシートを調節します
5. (図21c)二人乗りトレーラーにお子様一人を乗せる場合、シートの右側に乗せます。

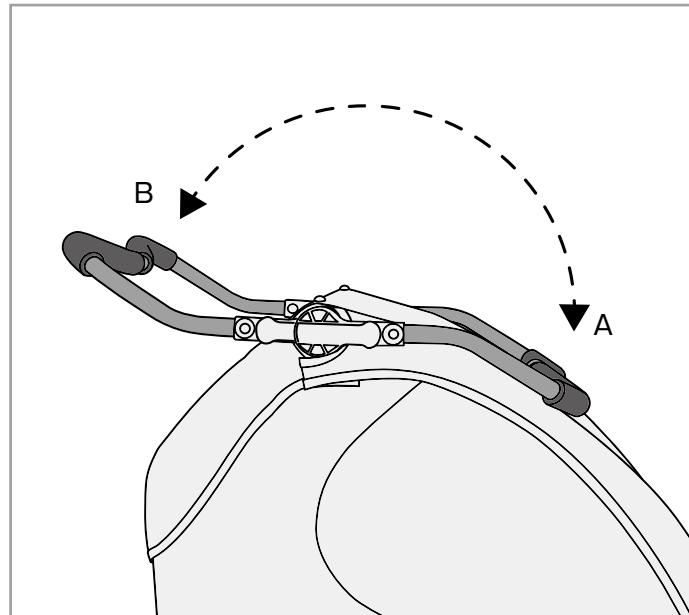
(図 21c)



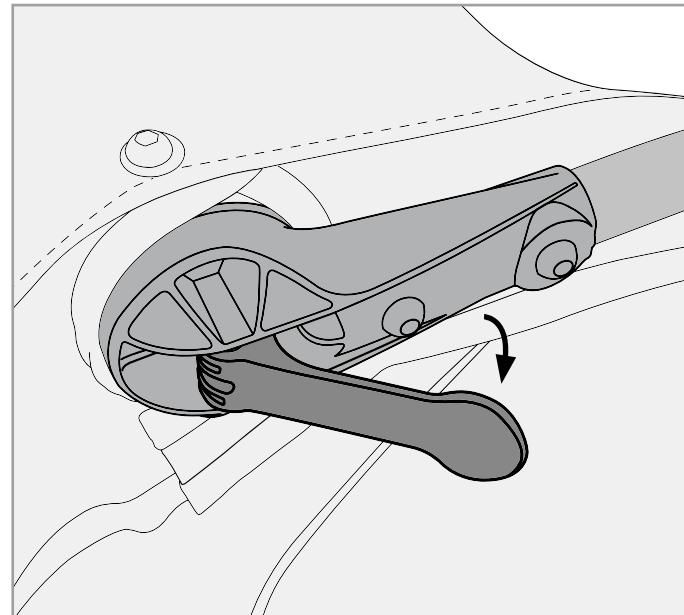
## 17 ハンドルバーを調整する

### 自転車でけん引する場合

1. (図22A)常にハンドルバーを前方にセットします。万一の転倒時にローラバーとして働きます



(図 22)



(図 23)

## 18 乗車前点検リスト

ご利用ごとに次の項目をチェックしてください

1. ホイールがベビーカーにきちんと取り付けられている
2. タイヤの空気が適正である
3. けん引バーがベビーカーにきちんと取り付けられている
4. 取り付け金具が自転車にきちんと固定されている
5. 取り付け金具とけん引バーがピンで固定されている
6. 自転車・ベビーカー双方にストラップがついている
7. 積載重量が45Kg(二人乗りの場合)または34kg(一人乗りの場合)を超えていない
8. けん引バーの荷重が適切(900g以上9.7kg以下)である
9. 自転車の動作が通常である。特にブレーキとタイヤが問題なく作動する
10. お子様にヘルメットを着用させている
11. セーフティフラッグが所定の位置に取り付けられている
12. お子様にシートベルトをきちんと取り付けている
13. ハンドルバーがけん引位置にセットされている

1ヶ月ごとに次の項目をチェックしてください

1. けん引バー、取り付け金具、フレームのチューブ、フレックスコネクター及び本体の損傷を点検してください
2. ポルトがきちんと固定されている事を確認してください
3. タイヤとホイールの摩耗及び割れを目視してください
4. ホイールのゆがみと割れを点検してください
5. 繊維部分の破れ、剥落、脱落、または本体の損傷を確認してください

### 最大積載量

- 一人乗りベビーカー : 34kg、子供一人と荷物
- 二人乗りベビーカー : 45kg、子供二人と荷物
- お子様の最大座高 : 62cm

## 19 お手入れをする

### ベビーカーを折り畳む

1. お子様と荷物をベビーカーから降ろします
2. けん引バーとホイールを取り外します
3. ハンドルバーを畳みます
4. フレームの掛け金を外し、フレーム後部を前方向に押して畳みます
5. ホイールとけん引バーをベビーカーに片付けます

注意:ホイールが取り付けられたままの状態でベビーカーを折り畳むと、  
ウィンドウを損傷するおそれがあります

### 保管の注意

- 製品を長くお使いいただくために、ベビーカーは屋内で保管してください
- ベビーカーを屋外で保管する場合、保管用カバーでベビーカーを保護してください
- -23°C以下または65°C以上の温度になる場所での保管はおやめください
- タイヤを窓の近くで保管すると窓の退色が発生する原因となります

### 布のお手入れ

1. 繊維部分を弱酸性石鹼または洗剤を入れた湯で手洗いします
2. 漂白剤または溶剤は使わないでください
3. ベビーカーカバーは日陰で干します
4. から拭きしてから直射日光の当たらない乾燥した換気の良い場所で保管します
5. 窓は湿らせた柔らかい布で拭きます

## 保証規定

### 保証規定

ライトウェイプロダクツ ジャパン株式会社(以下当社)が取り扱うバーレー自転車用ベビーカー、トレーラーおよびその付属品は、購入日から1年間において材料及び構造上の欠陥に対して保証します。保証を受けていただくには販売店の発行するレシートまたは領収書が必要です  
この保証は日本国内での購入・利用に関してのみ有効です

保証期間中に材料または構造上の欠陥が発見された場合、修理または交換をいたします

保証は日本国内での利用においてのみ有効です

保証は本製品の最初の購入者のみに有効です。譲渡された場合には保証は継続されません

保証はご購入者ご本人の個人的利用においてのみ有効です。レンタルおよび業務利用時について保証は適用されません。バーレーおよび当社は商業的損害に関して一切の責任を負いません

保証は製品を適切にご利用頂いた場合にのみ有効です。不適切な利用、改造、事故、および通常利用時の消耗に関して保証は適用されません

本製品の明示または默示保証の範囲は、唯一の選択肢としてここで指定された修理または交換に限定されます。いかなる場合においても、特別損害・偶発的損害・派生的損害に対する責任は明示的に排除されます

**BURLEY®**

[burley.com](http://burley.com)

バーレーとつながりましょう

いつでも自転車に乗っている方、天気の良い日にだけ自転車に乗る方、  
いろいろな方とバーレーは情熱を共有したいと考えています

日本国内代理店

地球を楽しくしたい

**RITEWAY**  
PRODUCTS JAPAN

ライトウェイプロダクツジャパン株式会社  
〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-18-34 池袋シティハイツ102  
TEL.03-5950-6002 FAX.03-5956-8028  
[riteway-jp.com](http://riteway-jp.com)